

令和4年度 福島県
「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

小野町谷津作行政区 活動報告

獨協大学地域活性化プロジェクト米山チームPart 2

1.地区の概要と取り組むべき課題

福島県小野町

谷津作地区の位置

概観



- 人口：小野町 9081人
谷津作地区 約980人
- 生活圏：いわき市と郡山市の中間に位置。生活圏も両方にかかる。

観光資源



- 東堂山昭和羅漢
- 諏訪神社の爺杉媪杉
- 夏井千本桜
- リカちゃんキャッスル

課題に対する活動方針

今年度まで、地域に対し住民側に焦点を当て、住民同士での活性化を目指し活動を行ってきた。



2.今年度の活動内容



現地調査

10/29,30に実施。
小野町と魅力と課題を直接的に感じる機会となった。



「TERAKOYAプロジェクト」

昨年度からの継続参加で地元中学生との交流を図った。



福島県地域振興物産展

小野町の名産品を販売し学内の学生や職員、大学周辺への
本事業と対象地域のPRを行った。

2.今年度の活動内容

現地活動 10/29,30

1 懇談会

谷津作地区の青年団の方や古くから生活している方、移住してきた方など様々な立場の人が参加。源泉の詳細、活用方法、小野町や谷津作地区の現状など様々なことを話し合った。実際に生活している住民の話を聞き新たな課題も見つかった。



2 こまちふれあいフェスタ

3年ぶりに開催された小野町のイベントに参加。健康ブースでの測定補助や販売ブースでの接客補助などを通じて地元住民との交流を行った。また、空きブースにてこれまでの発表資料や提案を展示。多くの人にPR。



3.まとめ

課題が明確になり、方向性が固まった今年度の活動となった。

課題

- ◆ 住民同士の繋がりが希薄→まちの担い手を務める若者が少ない
- ◆ 源泉の活用における様々な問題

やりがい

- ◆ 活動の中で地域の様々な年代の人とつながりを持てたこと
- ◆ 実際に住民の方と直接コミュニケーションをとれたこと

発見

- ◆ 実際に現地に入り、静かでゆったりとした小野町の雰囲気を感じることができた

評価の高かった取り組み

- ◆ 懇談会で自分たちの考えに対して現地の方々から前向きな意見を頂けたこと

4. 今後に向けて

住民同士の繋がりが少ない

担い手を務める若者の減少



源泉を活用した
地元住民の交流の場創出
の具体化に取り組む

「健康」×「源泉活用」= 交流



ご清聴ありがとうございました

